

**ボルネオオランウータン「ナナ」のお別れ会を行います！
～フサオマキザル「ベストマザー＆ファザー賞」授与式も開催～**

このたび、ボルネオオランウータン「ナナ」が繁殖のため、よこはま動物園（ズーラシア）へ旅立つことになりました。つきましては、お別れガイドを実施しますので、お知らせします。また、10頭の子どもを育て上げたフサオマキザルのお母さんとお父さんへのベストマザー賞とベストファザー賞の授与式も開催しますので、併せてお知らせします。

1 ボルネオオランウータン「ナナ」のお別れ会

(1) お別れガイド

ア 日時

平成30年5月13日（日）13:15～13:30

※天候により変更または中止の場合もあります。

イ 場所

オランウータン展示場前

ウ 内容

飼育担当者がオランウータン展示場前で、「ナナ」の思い出等を交えたガイドを行います。好物の果物のプレゼントもあります。

(2) 引っ越しについて（予定）

ア 日時

平成30年5月17日（木）（※非公開）

イ 引越し先

よこはま動物園ズーラシア（横浜市旭区上白根町1175-1）

(3) 「ナナ」について

ア 性別

メス

イ 生年月日

1990年4月27日千葉市動物公園生まれ（満28歳）



オランウータン「ナナ」

(4) 移動の経緯

日本動物園水族館協会・生物多様性委員会オランウータン計画推進会議において、5年間繁殖がないメス個体を移動させ、積極的に繁殖を図ろうという方針に基づき、ナナを繁殖経験のあるオスがいる、よこはま動物園ズーラシアに移動させることとなった。

(5) 現在の飼育状況 メス 1 オス 1 計2頭 飼育中（搬出個体含む）

(6) 国内飼育頭数（平成30年3月31日現在）

飼育種	飼育園館数	飼育頭数		
		オス	メス	計
ボルネオオランウータン	12	17	15	32
スマトラオランウータン	5	4	7	11
ハイブリッド	3	0	3	3
計	20	21	25	46

2 フサオマキザル「ベストマザー&ファザー賞」授与式

(1) 実施日時および場所

ア ベストマザー賞授与式

5月12日(土)(母の日の前日)

イ ベストファザー賞授与式

6月17日(日)(父の日)

ウ 実施時間

11:00~11:20

エ 場所

モンキーゾーン、サル比較舎フサオマキザル展示場前にて

※天候により変更または中止の場合もあります。

(2) 実施内容

ア 担当者より個体の紹介とエピソードなど

イ 賞状授与(園長または副園長より飼育担当者へ)

ウ フサオマキザルにプレゼント(南米産の果物など)

エ 担当者よりフサオマキザルについて、フィーダーやクルミなどを使って、知能の高さを解説。※賞状はしばらく屋内展示場に掲示

(3) 現在の飼育状況

ア お母さん(カロリーナ)

2002年来園。10頭の子供を育て上げた肝っ玉母さん。生まれた子供はなぜかすべてオス。

イ お父さん(カルロス)

2002年来園。母親に変わり、時に育児を受け持つなどイクメンパパだが、餌を独占しようとするワンマンなところもあり。

ウ ディエゴ

カロリーナとカルロスの2016年生まれの子(オス)

エ ミゲル

カロリーナとカルロスの2018年生まれの子(オス)

計4頭

(4) 今までの繁殖について

2004年、2006年、2008年、2010年、2012年、2013年、
2014年、2015年、2016年、2018年の10回(いずれもオス)

(5) 国内飼育園館

29園



ベストマザー賞
お母さん「カロリーナ」



ベストファザー賞
お父さん「カルロス」

《参考》

1 ボルネオオランウータンについて

- (1) 種目
霊長目 ヒト科
- (2) 学名
Pongo pygmaeus
- (3) 大きさ
 - ア 体長
オス1.2～1.4m メス0.8～1.0m
 - イ 体重
オス70～90kg メス50～70kg
- (4) 分布
ボルネオ島の森林地帯に生息
- (5) 生態等

オランウータンという名前は、現地の言葉で「森のひと」を意味し、生活のほとんどを樹上で、単独か親子連れで暮らしています。

オレンジがかった茶色の体毛で、オスは大人になると顔のまわりの頬ひだが張り出してきます。また、のど袋も発達して大きな声で鳴きます。現在は、熱帯雨林の伐採や開発により、生息地が減少して、その数を急速に減らしています。近縁種にスマトラオランウータンがいます。

※IUCNレッドリスト絶滅危惧種 IB類 (EN) に該当。

ワシントン条約 附属書 I に掲載

2 フサオマキザルについて

- (1) 種目
霊長目 オマキザル科
- (2) 学名
Cebus apella
- (3) 大きさ
 - ア 体長
オス32～56cm メス33～48cm
 - イ 体重
オス3.5～3.9kg メス2.5～3.0kg
- (4) 分布
南米のアマゾン川流域
- (5) 生態等

頭部の両側に逆立った黒い房毛があることが和名の由来となっています。胴体は褐色の体毛で覆われています。熱帯雨林とその周辺の林に棲み、果実、種子、昆虫などを食べます。群れは一般に小さく、3～15頭ほどです。

古くから大きな石を使ってヤシの実を割り、食べることが知られています。この道具使用はチンパンジーにも見られます。

※ワシントン条約 附属書 2 表